

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機 関 名	信州大学	整理番号	U02
プログラム名称	ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成		
プログラム責任者	下坂 誠	プログラム コーディネーター	高寺 政行

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

[総括評価]

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、伝統的な衣料のみならず建築、土木、航空機等の輸送体、電気・電子材料、医療など幅広い分野で重要な役割を果たす繊維・ファイバー分野で活躍するグローバルリーダーの養成を目指しており、そうした位置付けの下で、学位論文作成に向けた専門性の高い研究指導に加えて幅広い領域の学習を義務付け、国内外の企業や研究機関でのインターンシップ実施、フランスの ENSAIT とのダブル・ディグリー（修士）実施、業界関係者によるオムニバス講義や講師との討論を実施するなど様々な取組が行われている。また、本プログラム向けに新たに開講された英語による講義についても大半が討論を中心とするアクティブ・ラーニング型で実施されており、学生の主体性を涵養する場となっている。本プログラムに参加している学生との意見交換を通じて、彼らが自信に満ちあふれ、主体的に将来の方向性を考えていることなどが明らかとなった。このように、本プログラムは、博士課程教育リーディングプログラムが目指す「リーダーを養成する学位プログラムの確立」に向けて着実に進んでいると言える。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、現在、海外を含む様々な分野の専門家や研究者が本プログラムに参画し、生産現場での商品開発・研究や経営のみならず、学生の将来についての助言等も行われており、学生は広い視野を持った専門性の高いグローバルリーダーとして成長しつつある。また、起業を含めて、自分の将来像を温めながらプログラムに参加しており、将来の活躍が期待される。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、多くの教員が本プログラムに参画しており、様々なアクティビティの責任者となっている教員の積極的な関与及びメンターである特任教員の積極的な支援が学生のやる気を刺激し、困難を抱えた時の支えとなっており、指導体制は十分に整備されている。

優秀な学生の獲得については、留学生を含めて苦戦していることは否めない。しかしながら、参加している学生の満足度は非常に高く、彼らが今後、後輩等のリクルート活動に積極的に参加することとしている点や、本プログラムに参画している企業関係者による学生評価が高い点等から、本プログラムの優越性が浸透すれば応募者数は増加するものと考えられる。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、本プログラムから学位取得者がまだ出ていないので、現段階で「学位の質保証システム」を議論することは難しい

が、通常の学位審査に加えて、中間評価の段階で外部審査委員による目標ごとの達成状況評価を実施予定であり、学位の質保証システムは制度としては出来上がっていると判断する。

事業の定着・発展については、支援期間終了後の展開を見据えて、現在、関連企業への寄附の呼びかけを行うこととしており、また、本プログラムで開発した講義を信州大学大学院プログラムとして導入することも検討している。